

01

「予算」は目的に応じてつくられています



予算って何？

市では、教育、福祉、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な行政サービスを市民に提供していますが、どのような行政サービスにどのくらいお金を使うかについて、あらかじめ決めておく必要があります。そこで、新しい年度が始まる前に、税金などの収入（歳入）と、行政サービスの費用などの支出（歳出）の金額を見積もり、事業の内容を計画します。この見積もりを「予算」といいます。



「予算」は市長が案をつくり、市議会が決定します。





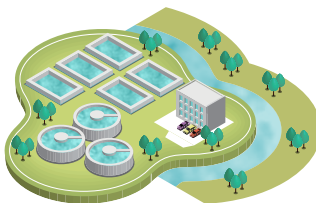
目的などに応じて「予算」は大きく3種類あります。

企業会計

病院や水道などは、それ自体が民間の会社のように活動していて、基本的に自らの収益で運営されています。川崎市には現在5つの企業会計があります。



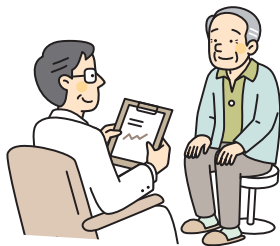
病院事業



水道事業

特別会計

国民健康保険や市場なども市の仕事の一部です。これらは特定の収入があるため独立した予算で収支を明確にし、一般会計とは分けています。川崎市には現在13の特別会計があります。



国民健康保険事業



卸売市場事業

一般会計

市の基本的な仕事（教育、福祉、ごみ処理、消防、道路整備など）を行う予算です。主に市税で賄われています。



教育



道路整備



福祉

